



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月6日

上場取引所 東

上場会社名 パイオニア株式会社

コード番号 6773 URL <http://pioneer.jp/ir/>

代表者 (役職名) 代表取締役 兼 社長執行役員 (氏名) 小谷 進

問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役 兼 専務執行役員 (氏名) 岡安 秀喜

TEL 044-580-3211

四半期報告書提出予定日 平成24年11月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (マスコミ・アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	224,577	5.1	3,153	△55.0	733	△85.5	△7,500	—
24年3月期第2四半期	213,729	△5.7	7,002	5.0	5,071	△7.0	1,505	△80.3

(注)包括利益 25年3月期第2四半期 △10,520百万円 (—%) 24年3月期第2四半期 △6,971百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	△23.36	—
24年3月期第2四半期	4.69	—

(注)潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第2四半期	299,741	78,814	24.7	230.90
24年3月期	322,012	89,037	26.1	261.98

(参考)自己資本 25年3月期第2四半期 74,134百万円 24年3月期 84,113百万円

(注)自己資本は、純資産から少数株主持分を控除したものを記載しています。1株当たり純資産は、自己資本を期末発行済株式数(自己株式控除後)で除して算出しています。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成25年3月期の期末配当金は、業績等を考慮して、今後決定する予定です。

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	466,000	6.7	15,000	19.9	11,000	11.5	1,000	△72.8	3.11

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

1株当たり当期純利益の予想値は、平成25年3月期第2四半期における期中平均株式数を用いて算出しています。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 有
 - ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料5ページ「3. その他の情報 (1)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご参照下さい。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期2Q	326,093,836 株	24年3月期	326,093,836 株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	5,024,096 株	24年3月期	5,024,047 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期2Q	321,069,777 株	24年3月期2Q	321,070,302 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、金融商品取引法に基づき四半期報告書に記載される四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

連結業績予想の前提条件および注意事項等については、添付資料の4ページから5ページをご参照下さい。

目 次

1. 四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 連結経営成績	P. 2
(2) 連結財政状態	P. 3
(3) 連結業績予想	P. 4
2. 対処すべき課題	P. 4
3. その他の情報	P. 5
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 5
4. 四半期連結財務諸表等	P. 6
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 12
(4) 継続企業の前提に関する注記	P. 13
(5) セグメント情報等	P. 13
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P. 15

問合せ先：IR部

電 話 (044) 580-3211
ファクシミリ (044) 580-4064
Eメール pioneer_ir@post.pioneer.co.jp
U R L <http://pioneer.jp/ir/>

1. 四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績

(金額単位 百万円)

科 目	第 2 四 半 期			第 2 四 半 期 連 結 累 計 期 間		
	平成25年3月期 (平成24年7月～ 平成24年9月)	平成24年3月期 (平成23年7月～ 平成23年9月)	増減率	平成25年3月期 (平成24年4月～ 平成24年9月)	平成24年3月期 (平成23年4月～ 平成23年9月)	増減率
売 上 高	113,147	115,602	△2.1%	224,577	213,729	5.1%
営 業 利 益	2,554	5,050	△49.4%	3,153	7,002	△55.0%
経 常 利 益	1,709	3,424	△50.1%	733	5,071	△85.5%
当 期 純 損 益	△4,739	1,212	—	△7,500	1,505	—

平成25年3月期第2四半期（平成24年7月1日～平成24年9月30日）における連結売上高は、カーナビゲーションシステムが増加しましたが、光ディスクドライブ関連製品の大幅減少や円高の影響により、前年同期に比べ2.1%減収の113,147百万円となりました。

営業利益は、原価率の悪化や円高の影響により、前年同期から49.4%減益の2,554百万円となりました。また、当期純損益は、営業利益の減少に加え、特別損失として投資有価証券評価損を5,830百万円計上したことから、前年同期の1,212百万円の利益から、4,739百万円の損失となりました。

当四半期の平均為替レートは、対米ドルは前年同期並み、対ユーロは前年同期に比べ12.0%の円高となりました。

カーエレクトロニクスの売上は、円高の影響はありましたが、前年同期に比べ10.0%増収の77,905百万円となりました。カーナビゲーションシステムについては、市販市場向けが市況の低迷により主に国内で減少しましたが、OEMが国内や北米で好調に推移したことから、増収となりました。カーオーディオについては、OEMが国内で減少しましたが、市販市場向けが主に中南米、北米および国内で増加したことから、増収となりました。なお、カーエレクトロニクス全体の売上高に占めるOEMの売上構成比は、前年同期の42%から51%となりました。

国内外別の売上については、国内は2.9%増収の37,650百万円、海外は17.7%増収の40,255百万円となりました。

営業利益は、売上増や販売費及び一般管理費の減少はありましたが、利益率の高い市販カーナビゲーションシステムの減収等により原価率が悪化し、前年同期に比べ14.1%減益の3,103百万円となりました。

ホームエレクトロニクスの売上は、前年同期に比べ31.8%減収の22,855百万円となりました。これは、DJ機器、AVシステムおよびAVレシーバーは増加しましたが、光ディスクドライブ関連製品が、国内市場の低迷を受けたAV機器向けを中心に大きく減少したことによるものです。

国内外別の売上については、国内は62.5%減収の6,368百万円、海外は前年同期並みの16,487百万円となりました。

営業損益は、原価率は良化しましたが、売上減による売上総利益の減少により、前年同期の1,619百万円の利益から250百万円の損失となりました。

その他の売上は、電子部品が減少しましたが、F A機器が増加したことや、ブラジルの生産合弁会社においてEMS（電子機器受託製造サービス）を開始したことにより、前年同期に比べ9.8%増収の12,387百万円となりました。

国内外別の売上については、国内は14.9%減収の6,050百万円、海外は52.1%増収の6,337百万円となりました。

営業利益は、原価率は悪化しましたが、販売費及び一般管理費の減少や売上増により、前年同期に対して3.2倍の458百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間（平成24年4月1日～平成24年9月30日）における連結売上高は、光ディスクドライブ関連製品の大幅減少や円高の影響がありましたが、カーナビゲーションシステムやカーオーディオが増加したことから、前年同期に比べ5.1%増収の224,577百万円となりました。

営業利益は、売上高の増加はありましたが、原価率の悪化や販売費及び一般管理費の増加により、55.0%減益の3,153百万円となりました。また、当期純損益は、営業利益の減少に加え、投資有価証券評価損を5,830百万円計上したことなどにより、前年同期の1,505百万円の利益から、7,500百万円の損失となりました。

当第2四半期連結累計期間における平均為替レートは、対米ドルは前年同期並み、対ユーロは前年同期に比べ13.1%の円高となりました。

（注）各セグメントの営業損益は、セグメント間取引消去前の金額を表しています。

（2）連結財政状態

当第2四半期末の総資産については、棚卸資産が増加しましたが、現金及び預金や受取手形及び売掛金、ならびに投資有価証券が減少したことにより、前期末に比べ22,271百万円減少し、299,741百万円となりました。棚卸資産は、年末商戦に向けて、主に海外市場向けの在庫を積み増したことや、リードタイムの長いF A機器の受注が増加したことにより8,506百万円増加し、75,377百万円となりました。一方、現金及び預金は、14,312百万円減少し、31,641百万円となりました。受取手形及び売掛金は、当第2四半期の売上高が前期の第4四半期に比べ減少したことや円高の影響などにより8,407百万円減少し、68,866百万円となりました。また、投資有価証券は、保有株式の時価の下落等により4,794百万円減少し、4,824百万円となりました。

負債については、当第2四半期の仕入高が前期の第4四半期に比べ減少したことや円高の影響により、支払手形及び買掛金が11,953百万円減少したことなどから、前期末に比べ12,048百万円減少し、220,927百万円となりました。

純資産については、当第2四半期連結累計期間に当期純損失7,500百万円を計上したことに加え、円高により為替換算調整勘定が4,191百万円減少したことなどから、前期末に比べ10,223百万円減少し、78,814百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間のキャッシュ・フローについては、営業活動によるキャッシュ・フローは、前年同期に比べ収入が9,785百万円減少し、1,270百万円の収入となりました。これは、売上債権の減少額が5,114百万円拡大した一方で、仕入債務が前年同期の4,408百万円の増加から、8,071百万円の減少に転じたことなどによるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは、前年同期に比べ支出が8,236百万円増加し、18,340百万円の支出となりました。これは、タイの生産法人の復旧投資もあり、固定資産の取得による支出が7,294百万円増加したことによるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは、前年同期に比べ収入が2,989百万円減少し、3,529百万円の収入となりました。これは主に、長期および短期借入金の純増額が前年同期に比べ4,604百万円減少したことによるものです。

また、外貨建の現金及び現金同等物の換算差額は、前年同期の1,809百万円のマイナスに対し、1,523百万円のマイナスとなりました。

以上の結果、当第2四半期末の現金及び現金同等物の残高は、前期末に比べ15,064百万円減少し、30,889百万円となりました。

(3) 連結業績予想

平成24年8月7日に発表した平成25年3月期通期の連結業績予想について、次のとおり修正します。

(金額単位 百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	500,000	20,000	16,000	8,500
今回修正予想 (B)	466,000	15,000	11,000	1,000
増減額 (B-A)	△34,000	△5,000	△5,000	△7,500
増減率 (%)	△6.8	△25.0	△31.3	△88.2
平成24年3月期通期実績 (ご参考)	436,753	12,514	9,863	3,670

カーエレクトロニクスにおいて、市販カーナビゲーション市場の低迷や中国での売上減の影響を受けることや、ホームエレクトロニクスにおいて、光ディスクドライブ関連製品およびホームAV製品の売上計画を見直したこと、さらに、特別損失として投資有価証券評価損を5,830百万円計上したことから、通期の業績予想を上記のとおり下方修正します。

なお、以上の業績予想においては、下半期の為替レートを、米ドルは前回発表と同じ1米ドル=77円、ユーロは5円円安の1ユーロ=100円と想定しています。

2. 対処すべき課題

当社を取り巻く経営環境につきましては、不透明な世界景況や不安定な為替動向、中国情勢など、予断を許さない状況が続いています。当期におきましては、市販カーナビゲーション市場の低迷や光ディスク市場の縮小、中国市場での販売減少を見込むことなどから通期業績予想を下方修正しましたが、以下の施策を着実に推進することで、計画達成に努力してまいります。

カーエレクトロニクスでは、“スマートフォンリンク アプリユニット”など、スマートフォンと連携したビジネスをすでに開始しているほか、フロントガラス越しの前方にナビゲーション情報を重ねて表示する先進の「AR HUD (ヘッドアップディスプレイ)」を搭載した“サイバーナビ”の拡販に加え、「エアージェスチャー」機能により使いやすさを追求した“楽ナビ”の新製品をこの秋に導入するなど、国内市販市場の活性化を図っております。また、コスト改善を徹底したカーオーディオ新製品の導入等により、収益性の向上に注力してまいります。

ホームエレクトロニクスでは、光ディスク事業において事業規模に見合うよう体制の見直しとコスト削減を進めているほか、年末の拡販期に向け、ホームAV製品やDJ機器を中心に新製品を積極的に導入することで、利益の確保に努めてまいります。

通期計画の確実な達成に向け、売上の拡大とともに、コスト管理の強化も徹底し、全力で努力してまいります。

3. その他の情報

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ・会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更

当社および国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しています。

これによる当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益および税金等調整前四半期純損失に与える影響は軽微です。

見通しに関する注意事項

当発表資料中、当社の現在の計画、概算、戦略、判断などの記述、また、その他すでに確定した事実以外の記述は、当社の将来の業績の見通しに関するものです。これらの記述は、現在入手可能な情報による当社経営陣の仮定および判断に基づいています。実際の業績は、様々な重要なリスク要因や不確定要素によって、見通しの中で説明されている業績から大きく異なる可能性もありますので、これらの記述に過度に依存されないようお願いします。また、当社は新たな情報や将来の事象等の結果としてこれらの記述を常に見直すとは限らず、当社はこのような義務を負うものではありません。当社に影響を与え得るリスクや不確定要素には、(1)当社が関わる市場の一般的な経済情勢、特に消費動向や当社が製品等を供給する業界の動向、(2)為替レート、特に当社が大きな売上や資産、負債を計上するユーロ、米ドル、その他の通貨と円との為替レート、(3)競争の激しい市場において、顧客から受け入れられる製品を継続して設計、開発する能力、(4)事業戦略を成功させる能力、(5)他社との合弁、提携またはその他の事業関係の成功、(6)資金調達能力、(7)研究開発や設備投資に十分な経営資源を継続して投下する能力、(8)製品に関する品質管理能力、(9)生産に必要な重要部品を継続して調達し得る状況、(10)偶発事象の結果などが含まれますが、これらに限られるものではありません。

4. 四半期連結財務諸表等
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	45,953	31,641
受取手形及び売掛金	77,273	68,866
商品及び製品	31,616	38,453
仕掛品	12,599	13,170
原材料及び貯蔵品	22,656	23,754
繰延税金資産	7,874	7,881
その他	16,085	10,982
貸倒引当金	△1,160	△1,141
流動資産合計	212,896	193,606
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	63,851	64,089
機械、運搬具及び工具器具備品	144,668	144,032
その他	25,890	24,861
減価償却累計額	△172,309	△170,944
有形固定資産合計	62,100	62,038
無形固定資産		
のれん	648	626
ソフトウェア	26,713	29,237
その他	1,494	1,296
無形固定資産合計	28,855	31,159
投資その他の資産		
投資有価証券	9,618	4,824
繰延税金資産	5,902	5,649
その他	2,581	2,452
貸倒引当金	△26	△26
投資その他の資産合計	18,075	12,899
固定資産合計	109,030	106,096
繰延資産	86	39
資産合計	322,012	299,741

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	73,276	61,323
短期借入金	9,052	15,118
1年内返済予定の長期借入金	70,459	66,277
未払法人税等	5,503	4,647
未払費用	33,787	33,807
製品保証引当金	2,561	2,461
その他	14,532	12,229
流動負債合計	209,170	195,862
固定負債		
長期借入金	10,000	10,000
退職給付引当金	10,771	11,531
その他	3,034	3,534
固定負債合計	23,805	25,065
負債合計	232,975	220,927
純資産の部		
株主資本		
資本金	87,257	87,257
資本剰余金	119,487	51,541
利益剰余金	△31,076	29,370
自己株式	△11,050	△11,050
株主資本合計	164,618	157,118
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1,064	379
繰延ヘッジ損益	△105	4
為替換算調整勘定	△77,140	△81,331
海外子会社年金調整額	△2,196	△2,036
その他の包括利益累計額合計	△80,505	△82,984
少数株主持分	4,924	4,680
純資産合計	89,037	78,814
負債純資産合計	322,012	299,741

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	213,729	224,577
売上原価	165,065	178,509
売上総利益	48,664	46,068
販売費及び一般管理費	41,662	42,915
営業利益	7,002	3,153
営業外収益		
受取利息	159	65
受取配当金	145	109
為替差益	233	—
その他	202	231
営業外収益合計	739	405
営業外費用		
支払利息	1,642	1,254
為替差損	—	124
その他	1,028	1,447
営業外費用合計	2,670	2,825
経常利益	5,071	733
特別利益		
固定資産売却益	49	100
投資有価証券売却益	—	135
子会社株式売却益	455	—
災害保険金収入	—	35
特別利益合計	504	270
特別損失		
固定資産除売却損	676	57
投資有価証券評価損	32	5,830
減損損失	502	45
その他	144	749
特別損失合計	1,354	6,681
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	4,221	△5,678
法人税、住民税及び事業税	2,535	2,396
法人税等調整額	△244	△297
法人税等合計	2,291	2,099
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	1,930	△7,777
少数株主利益又は少数株主損失(△)	425	△277
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,505	△7,500

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	1,930	△7,777
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,912	1,443
繰延ヘッジ損益	134	109
為替換算調整勘定	△7,241	△4,483
持分法適用会社に対する持分相当額	△8	28
海外子会社年金調整額	126	160
その他の包括利益合計	△8,901	△2,743
四半期包括利益	△6,971	△10,520
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△7,269	△9,979
少数株主に係る四半期包括利益	298	△541

四半期連結損益計算書
第2四半期連結会計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結会計期間 (自平成23年7月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成24年7月1日 至平成24年9月30日)
売上高	115,602	113,147
売上原価	90,576	91,084
売上総利益	25,026	22,063
販売費及び一般管理費	19,976	19,509
営業利益	5,050	2,554
営業外収益		
受取利息	71	22
受取配当金	54	47
為替差益	—	428
その他	72	182
営業外収益合計	197	679
営業外費用		
支払利息	796	620
為替差損	221	—
借入関連費用	452	252
その他	354	652
営業外費用合計	1,823	1,524
経常利益	3,424	1,709
特別利益		
固定資産売却益	27	28
投資有価証券売却益	—	135
その他	6	—
特別利益合計	33	163
特別損失		
固定資産除売却損	544	37
投資有価証券評価損	32	5,830
減損損失	418	—
その他	137	259
特別損失合計	1,131	6,126
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	2,326	△4,254
法人税、住民税及び事業税	1,572	1,045
法人税等調整額	△393	△329
法人税等合計	1,179	716
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	1,147	△4,970
少数株主損失(△)	△65	△231
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,212	△4,739

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結会計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結会計期間 (自平成23年7月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成24年7月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	1,147	△4,970
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△861	3,640
繰延ヘッジ損益	345	△257
為替換算調整勘定	△5,398	△343
持分法適用会社に対する持分相当額	△38	△54
海外子会社年金調整額	83	21
その他の包括利益合計	△5,869	3,007
四半期包括利益	△4,722	△1,963
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△4,546	△1,693
少数株主に係る四半期包括利益	△176	△270

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	4,221	△5,678
減価償却費	12,235	12,240
減損損失	502	45
退職給付引当金の増減額(△は減少)	615	952
受取利息及び受取配当金	△304	△174
支払利息	1,642	1,254
固定資産除売却損益(△は益)	627	△43
投資有価証券評価損益(△は益)	32	5,830
売上債権の増減額(△は増加)	759	5,873
たな卸資産の増減額(△は増加)	△8,573	△11,827
仕入債務の増減額(△は減少)	4,408	△8,071
未払費用の増減額(△は減少)	△138	714
その他	△1,197	4,543
小計	14,829	5,658
利息及び配当金の受取額	304	174
利息の支払額	△1,640	△1,267
法人税等の支払額	△2,438	△3,295
営業活動によるキャッシュ・フロー	11,055	1,270
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額(△は増加)	△1,127	△774
固定資産の取得による支出	△10,683	△17,977
固定資産の売却による収入	1,190	245
その他	516	166
投資活動によるキャッシュ・フロー	△10,104	△18,340
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	1,793	6,494
長期借入れによる収入	35,328	41,664
長期借入金の返済による支出	△30,205	△45,846
セール・アンド・リースバック取引による収入	—	2,418
その他	△398	△1,201
財務活動によるキャッシュ・フロー	6,518	3,529
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,809	△1,523
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	5,660	△15,064
現金及び現金同等物の期首残高	47,566	45,953
現金及び現金同等物の四半期末残高	53,226	30,889

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

1. セグメント別売上高

(単位：百万円)

		前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)		増減率
		金額	構成比	金額	構成比	
カーエレクトロニクス	国内	63,701	29.8%	78,622	35.0%	23.4%
	海外	64,582	30.2	80,325	35.8	24.4
カーエレクトロニクス		128,283	60.0	158,947	70.8	23.9
ホームエレクトロニクス	国内	32,452	15.2	15,066	6.7	△53.6
	海外	31,494	14.7	29,136	13.0	△7.5
ホームエレクトロニクス		63,946	29.9	44,202	19.7	△30.9
その他	国内	13,013	6.1	12,264	5.5	△5.8
	海外	8,487	4.0	9,164	4.0	8.0
その他		21,500	10.1	21,428	9.5	△0.3
連結売上高計	国内	109,166	51.1	105,952	47.2	△2.9
	海外	104,563	48.9	118,625	52.8	13.4
連結売上高計		213,729	100.0	224,577	100.0	5.1

(単位：百万円)

		前第2四半期連結会計期間 (自 平成23年7月1日 至 平成23年9月30日)		当第2四半期連結会計期間 (自 平成24年7月1日 至 平成24年9月30日)		増減率
		金額	構成比	金額	構成比	
カーエレクトロニクス	国内	36,591	31.7%	37,650	33.3%	2.9%
	海外	34,214	29.5	40,255	35.6	17.7
カーエレクトロニクス		70,805	61.2	77,905	68.9	10.0
ホームエレクトロニクス	国内	16,997	14.7	6,368	5.6	△62.5
	海外	16,523	14.3	16,487	14.6	△0.2
ホームエレクトロニクス		33,520	29.0	22,855	20.2	△31.8
その他	国内	7,112	6.1	6,050	5.4	△14.9
	海外	4,165	3.7	6,337	5.5	52.1
その他		11,277	9.8	12,387	10.9	9.8
連結売上高計	国内	60,700	52.5	50,068	44.3	△17.5
	海外	54,902	47.5	63,079	55.7	14.9
連結売上高計		115,602	100.0	113,147	100.0	△2.1

2. セグメント情報

前第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	カーエレクト ロニクス	ホームエレクト ロニクス	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	128,283	63,946	21,500	213,729	—	213,729
セグメント間の内部 売上高または振替高	442	149	3,222	3,813	△3,813	—
計	128,725	64,095	24,722	217,542	△3,813	213,729
セグメント利益(△損失)	5,466	1,981	△373	7,074	△72	7,002

(注) 1. セグメント利益(△損失)の調整額△72百万円には、セグメント間取引消去△48百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用等△24百万円が含まれています。全社費用等の内容は、一般管理費の配賦差額、報告セグメントに帰属しない一般管理費および研究開発費等です。

2. セグメント利益(△損失)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

当第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	カーエレクト ロニクス	ホームエレクト ロニクス	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	158,947	44,202	21,428	224,577	—	224,577
セグメント間の内部 売上高または振替高	390	136	3,736	4,262	△4,262	—
計	159,337	44,338	25,164	228,839	△4,262	224,577
セグメント利益(△損失)	8,075	△3,030	△698	4,347	△1,194	3,153

(注) 1. セグメント利益(△損失)の調整額△1,194百万円には、セグメント間取引消去134百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用等△1,328百万円が含まれています。全社費用等の内容は、一般管理費の配賦差額、報告セグメントに帰属しない一般管理費および研究開発費等です。

2. セグメント利益(△損失)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

前第2四半期連結会計期間(自 平成23年7月1日 至 平成23年9月30日)

報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	カーエレクト ロニクス	ホームエレクト ロニクス	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	70,805	33,520	11,277	115,602	—	115,602
セグメント間の内部 売上高または振替高	232	84	1,514	1,830	△1,830	—
計	71,037	33,604	12,791	117,432	△1,830	115,602
セグメント利益	3,613	1,619	143	5,375	△325	5,050

(注) 1. セグメント利益の調整額△325百万円には、セグメント間取引消去△2百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用等△323百万円が含まれています。全社費用等の内容は、一般管理費の配賦差額、報告セグメントに帰属しない一般管理費および研究開発費等です。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

当第2四半期連結会計期間(自 平成24年7月1日 至 平成24年9月30日)

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	カーエレクト ロニクス	ホームエレクト ロニクス	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	77,905	22,855	12,387	113,147	—	113,147
セグメント間の内部 売上高または振替高	199	68	1,903	2,170	△2,170	—
計	78,104	22,923	14,290	115,317	△2,170	113,147
セグメント利益(△損失)	3,103	△250	458	3,311	△757	2,554

(注) 1. セグメント利益(△損失)の調整額△757百万円には、セグメント間取引消去90百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用等△847百万円が含まれています。全社費用等の内容は、一般管理費の配賦差額、報告セグメントに帰属しない一般管理費および研究開発費等です。

2. セグメント利益(△損失)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成24年6月27日開催の定時株主総会における決議に基づき、平成24年7月31日をもって資本準備金および利益準備金を減少させ、剰余金の処分を行いました。これにより、連結貸借対照表上、資本剰余金が67,946百万円減少し、利益剰余金が同額増加しています。